

令和6年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第8号

令和6年8月23日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- 落水時期は出穂後 30 日以降を目安としましょう。
- 高温の影響により登熟は早まると見込まれます。刈り遅れによる品質低下を防ぐため、適期刈取りに努めましょう。

1 今後の栽培管理

(1) 水管理

- ・落水時期は出穂後 30 日以降が目安ですが、ほ場条件、天候、登熟状況などを考慮して時期を決定しましょう。
- ・落水後の好天が続く、田面が乾き過ぎるときは、走り水程度のかん水をしましょう。

(2) 適期刈取りの判断

- ・管内の出穂期は 8 月 1 日となり、平年（過去 5 力年の平均）より 3 日早く、また、出穂以降の気温が高めに推移していることから収穫時期は早まると見込まれます。
- ・出穂後の積算気温による刈取適期の目安は、「ひとめぼれ」で 940℃～1,100℃です。**8 月 1 日に出穂期を迎えたほ場の刈取適期は、9 月 9 日から 9 月 16 日頃となる見込み（8 月 20 日現在）**です。（表 1 参照）
- ・収穫適期に達する積算気温は品種によって異なります。表 1 を参考にして適期刈取りに努めましょう。特に「だて正夢」は、刈取適期の幅が短いので特に注意しましょう。
- ・また、一般的には、籾の 80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から 3 分の 1 程度黄変したときが成熟期です。穂の熟色等をよく観察して刈取適期を判断しましょう。
- ・倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫しましょう。
- ・天気予報を確認し計画的に作業しましょう。

表1 品種ごとの積算気温による刈取時期の目安（8月20日現在）

品 種	出穂後の積算気温	出 穂 期					
		7/28	7/30	8/1	8/3	8/5	8/7
ひとめぼれ	940～1,100℃	9/4～12	9/7～14	9/9～16	9/11～19	9/14～22	9/16～24
ササニシキ	930～1,150℃	9/4～14	9/6～16	9/9～19	9/11～21	9/13～24	9/16～27
だて正夢	1,020～1,060℃	9/8～10	9/10～12	9/13～14	9/15～17	9/18～19	9/20～22

※アメダス地点は、気仙沼。

※積算気温は、8月20日までは実測値、8月21日以降は過去5力年（令和元年から令和5年）の平均値を使用。実際は高温が見込まれるため、目安より早まる可能性があります。

【表1の見方】

「ひとめぼれ」の出穂期が8月1日の場合、9月9日（刈取早限）から9月16日（刈取晩限）が刈取適期と見込まれます。

表2（参考） 管内における水稻の出穂状況

	出穂始期	出穂期	穂揃期
R6	7/28	8/1	8/7
R5	7/28	8/1	8/9
平年	8/1	8/4	8/10

管内における出穂期は 8 月 1 日となり、前年と同じ、平年より 3 日早くなりました。

※「出穂始期」、「出穂期」、「穂揃期」は、管内の水稻作付見込面積に対して、出穂に達した面積が5%、50%、95%以上となった日
 ※「平年」は、過去5カ年（令和元年から令和5年）の平均

(3) 金のいぶき

- ・「金のいぶき」の成熟期までの積算気温は 1,050~1,150℃です。出穂後 50~55 日頃を目安に収穫しましょう。
- ・**穂発芽しやすい（穂発芽性が“中”）品種であることから、成熟期の積算気温に達したら発芽粒が発生しないように早めに刈り取りましょう。**また、「金のいぶき」は、胚芽の欠損が商品価値を低下させることから、乾燥・調製に当たっては、特に注意が必要です。

(4) 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

「ひとめぼれ」では、平均穂数株において稈の長さが中庸な枝梗数 8 本の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階が判定でき、刈取適期を予測できます。

成熟段階	籾熟色	備考
I	第 1 位籾が急速に黄化開始	
II	第 1 位籾がほぼ黄化（90%）	
III	第 1 位籾が殆ど黄化し（90%）、第 2、3 位籾が黄化開始	刈取適期
IV	第 1 位籾の黄化 100%、第 2、3 位籾が 30% 黄化	
V	第 2、3 位籾が 50% 以上黄化	

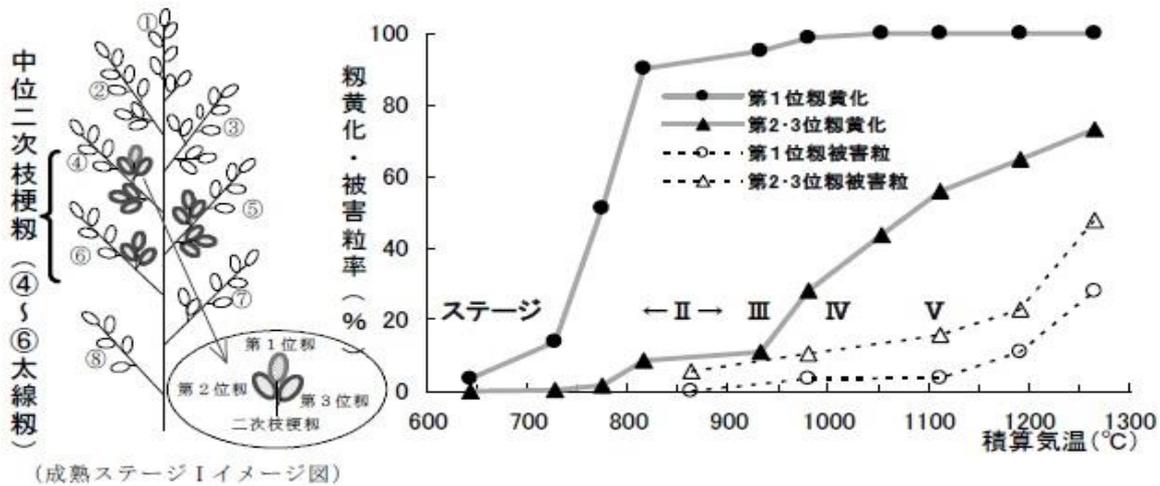


図 1 積算気温と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

2 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

(1) 収穫作業

- ・コンバイン収穫では籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分 25% 以下を目標に刈り取りましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

(2) 乾燥・調製作業

- ・収穫した生粳を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後、速やかに乾燥機に張り込み、送風しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。**今年はお穂後に高温が連続しているため、特に胴割米の発生が懸念されることから、二段乾燥に努めましょう。**
- ※【二段乾燥】粳水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定をすることで過乾燥を防止しましょう。仕上げ玄米水分は14.5%~15.0%が目標です。
- ・粳摺は肌ずれ防止のため、粳の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式粳摺機の場合は、粳（品種）に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・**今年はお穂後に高温が連続しているため、白未熟粒の発生による落等が懸念されることから、可能であれば色彩選別機を使用しましょう。**
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わるごとに機械類の清掃を徹底しましょう。
- ・「だて正夢」の玄米千粒重が小さいのは玄米の幅が狭いためであり、粒厚の分布は「ひとめぼれ」と同程度です。充実した玄米を確保するために、1.9mmの篩目（LLサイズ）で調整します。

3 気象の概況

梅雨明け（東北南部）は8月1日頃となり、前年より10日遅く、平年より8日遅くなりました。8月上旬は、晴れた日が多く平年を上回る高い気温で推移しました。8月第3半旬には、台風の影響により100mmを超える降水量がありましたが、被害は確認されませんでした。

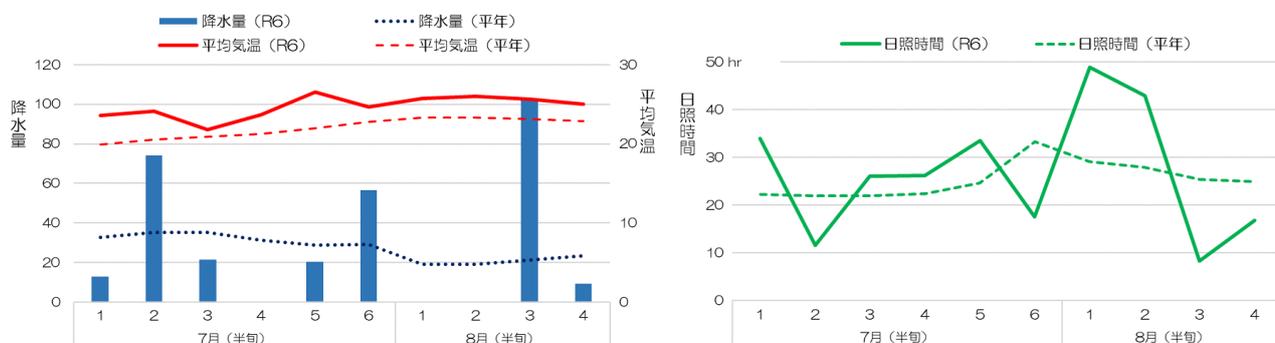


図2 気象経過図（気仙沼アメダス、7月1日～8月20日）

4 東北地方の1か月予報（仙台管区气象台8月22日発表）

○予報のポイント

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- ・低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は東北日本海側で平年並か少ないでしょう。

【徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策】
秋の農作業安全確認運動～令和6年9月1日から11月30日まで～